

藤野地区町内会連合会

# ルピナス 230

第101号

平成30年6月10日(日)



## 新年度を迎えて

藤野地区町内会連合会 会長 吉田 健治

昨年五月に会長の大役を仰せつかり、一年が過ぎました。

さる五月六日に開催された平成三十年定期総会において、この一年間の活動内容と収支決算を報告し、ご承認いただきましたが、この間ご協力を賜りました各町内の皆様をはじめ関係機関の方々に厚く御礼申し上げます。

中でも、八年ぶりに会場を十五島公園に移して開催した「第二十七回藤野ふるさとまつり」の実施にあたりましては、住民の皆さんのご理解の元、盛況のうちに終えることができました。藤野・藤野中央の両商工振興会の皆さんとも更なる工夫を重ね、より良い形で続けていく予定です。一層のご支援をお願いいたします。

本年度は、総会でご承認いただいた事業計画に基づき、重点項目に掲げた事項を中心に各専門部で予定された行事等も粛々と進めて参ります。なお、来年度は、藤野地区町内会連合会が創立されて五十周年という大きな節目を迎えます。記念誌の

発行や記念行事、記念事業の内容等を検討し準備にかかる年となるため、例年に増して多忙が予想されますので、一層のご協力をよろしくお願いたします。

また、町内会連合会の活動の様子を広報するため、「会報ルピナス230」を発行しています。この会報は、平成二年七月に創刊して以来一〇〇号を数え、本号は一〇一号という新たな頁に入りました。これを契機にカラー印刷を取り入れるなど、新たなルピナスとして、皆様に親しまれ大切にしていただける事を期待しています。

本年度は、「平成」の年号最後の一年となります。世の中の大きな変化の中で、思い出に残る一年になりますように頑張ります。

そして、藤野地区十九の町内会が連携をさらに深め、藤野地区全体が安全・安心感の漂う地域となり、「住んでよかった」を実感できる地域づくりに邁進します。皆様のご協力を切にお願いいたします。



平成三十年度  
藤野地区町内会連合会  
定期総会

「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」

藤野地区まちづくりビジョンを基本理念に



平成三十年度の藤野地区町内会連合会の定期総会が五月六日(日)十三時より藤野地区センターアリーナで、各単町の代議員、町連理事、役員が参加して行われた。町連会長吉田健治氏の挨拶のあと、藤ヶ丘南町内会の山下昌樹氏を議長に選出し議案の審議に入った。

●議案第一号

平成二十九年度事業報告(重点目標の実施状況報告)概要、個別具体的内容、各部門別実施状況報告について、八重崎総務部長から報告がなされた。

●議案第二号

平成二十九年度収支決算報告

①藤野地区町内会連合会

一般会計報告(別掲)

②特別積立金・別途基金について

- ③第二十七回藤野ふるさとまつり会計
- ④藤野太鼓保存会会計
  - ①②③について堀会計部長より、④について鈴木氏よりそれぞれ報告がされた。
- ⑤平成二十九年度監事監査報告
  - 伊藤監事から監事監査報告がされた。
  - 議案第一号、第二号まで一括して全員の拍手で承認された。
- 議案第三号
  - 平成三十年度事業計画
- 議案第四号
  - 平成三十年度収支予算(案)
  - ①藤野地区町内会連合会一般会計
  - ②第二十八回ふるさとまつり予算
  - ③藤野太鼓保存会会計
    - 議案第三号、第四号は原案どおり承認された。



# 平成三十年度 事業計画

## 概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、花とみどり・文化と福祉のまち藤野をまちづくり指針に掲げる目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動することにより「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。

## ― 各部門別個別活動計画 ―

### 総務部

一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関調整を図る。

二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、各単町間の情報交換を一層緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。

三、総会のほか必要に応じ四役会、理事会、役員会、専門部役員会等各種会議を開催する。また、各町内会の連携を深め、町内会運営の効率化・レベルアップを図るため、各町内会長による情報交換・交流を深めることに努める。

四、平成三十一年度を迎えることとなる「藤野地区町内会連合会

創立五十周年」に向けて、記念行事等の検討を行う。

五、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第二十八回藤野ふるさとまつりを実施する。なお実施にあたっては、会場を十五島公園とし、開催時間・会場設営等についても再編成するなど各関係機関との連携により実施する。

六、藤野地区内の各単町並びに各種団体等との連携を深めるため、平成三十一年ふるさと藤野新年交礼会を企画し、開催する。

七、恵まれた自然に調和したまちづくりを一層推進するため、花愛好会等との連携を深め、花いっぱい事業を推し進める。

八、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に努めるほか、文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。

九、住民のさらなる高齢化、依然として止まらない少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を図り、福祉のまちとしての一層の向上を図り目指す。

ふじの子育てサロンフェスタの実施をする。

十、安全安心のまちづくりを遂げ

るため各行政機関等との連携を深め、自主防災力の強化や研修会等によりスキルアップを図る。又、藤野地区で行われる南区防災訓練に協力する。

十一、定山溪沿線町内会連絡協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行なう。

① 国道二三〇号線の定山溪区間拡張事業

② 豊平川堤防道路の延長事業

③ シーニックバイウェイの一環とした地域づくり事業

④ 定山溪沿線地域の公共交通（バス）運賃の不公平の是正について

⑤ 「小金湯さくら森」の運営に伴う各種支援。

十二、「藤野地域に図書館づくりをすすめる会」の活動を支援する。

十三、平成二十四年度定期総会決定の「特別積立金」について、適切に管理し運用する。

十四、各部の事業予算執行にあたっては、経費の節約・効率化に努め充実感ある運営を目指す。

### 会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

### 広報部

一、会報「ルピナス230」の発行。(7,500部)

一〇一号、一〇二号、一〇三号

の発行、ふるさとまつりチラシ作成。

二、各級会議の開催。

三、ルピナス保存版の検討。

### 福祉部

一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈する。

二、藤野子育てサロンフェスタの開催

三、福祉部長・民生・児童委員会合同情報交換会の開催。

四、地区社協ほか関係諸団体との連携、協力、支援。

### 地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発の実施（年四回、R230号まちづくりセンター周辺）

二、少年消防クラブBFC「ふじ」活動への補助。

三、青色回転灯装着車両運行費（ガソリン代）の一部を補助（@6,000×十人）

四、南防犯協会連合会理事会、南区防火委員会理事会、南区交通安全推進委員会総会、安全安心まちづくり道民会議への参加。

### 体育部

一、少年少女ドッジボール大会の実施。

二、豊栄山（フズ）登山（3回）の実施

三、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

四、雪中運動会の実施。

**青少年部**

- 一、青少年部長会議の開催。
- 二、ふるさとふじの子ども会議の開催。(発表予定四校)
- 三、鑑賞会の開催(参加予定五校)に加え藤野太鼓の参加。
- 四、新春書初め会の開催。
- 五、かるた大会の開催

**女性部**

- 一、女性部会4回・ガン検診の督励。
- 二、リーダー研修。(施設見学会)
- 三、講習・研修会。(各種出前講座の活用)
- 四、女性部新年交流会。(第十三回女性交流の集い)の開催
- 五、交通安全母の会による交通安全街頭啓発・新入学児童の啓発
- 六、南区女性連絡協議会(九地区女性部)の一員として連携を深め、研修等に参加。
- 七、南区社会福祉協議会、共同募金会、定山溪沿線協(評議員等)。

**文化部**

- 一、文化展の開催。(九月上旬予定)
- 二、藤野の文化の普及と伝承。(藤野太鼓、藤野音頭、藤野賛歌)
- 三、藤野地区センター内「ふるさとコーナー」の展示物を通じ、地域の歴史と文化の伝承に役立

**環境部**

- 一、環境部長会議の開催。

- 二、クリーンさつぽろ推進協議会役員研修会・役員会等への参加。
- 三、フラワーガーデニング展の開催。(花愛好会との共催)
- 四、秋の園芸講習会の開催。(緑化協会との協力)
- 五、花いっぱい運動の推進。(歩道美化事業、緑の協会事業協力と町内会毎の植栽)
- 六、花愛好会との連携。(見学会、講習会、交流会)

**感謝状贈呈式**

Ⅱ 南区長表彰 佐藤区長よりⅡ

- 野月 邦穂 (前藤野第二町内会 土木部長)
- 遠藤 英夫 (前高見台町内会 厚生部長)
- 羽田 宏一 (前高見台町内会 総務部長)



平成三十年度 藤野地区町内会連合会役員

- |     |              |
|-----|--------------|
| 相談役 | 田中 義一 (本通)   |
|     | 大高喜代一 (第二)   |
| 会長  | 寺田 良男 (藤野公園) |
| 副会長 | 吉田 健治 (野々沢)  |
|     | 石村 勇雄 (十五島)  |
|     | 仙北 英治 (本通)   |
|     | 星野 数夫 (藤ヶ丘南) |
| 監事  | 山形 博 (富士見)   |
|     | 亀井 光一 (白樺)   |
| 理事  | 長内 弘美 (第一)   |
|     | 澤田 勇 (第二)    |
|     | 船越 盛正 (三区)   |
|     | 飯盛 禮子 (富士見)  |
|     | 石山 神日 (緑町)   |
|     | 田中 一男 (中央)   |
|     | 常見 信代 (高台)   |
|     | 是安 恒夫 (高見台)  |
|     | 清水 生彦 (白樺)   |
|     | 阿部 秀樹 (藤野公園) |
|     | 小田 勝義 (西藤野)  |
|     | 岡村 賢美 (白川)   |
|     | 佐藤 悦子 (藤ヶ丘西) |
|     | 船橋 廣光 (藤野団地) |
|     | 阿部 孝司 (東藤野)  |
|     | 八重崎泰則 (藤ヶ丘南) |
| 総務部 | 堀 武 (本通)     |
| 会計部 |              |
| 広報部 | 佐藤 英之 (十五島)  |
|     | 高橋 明利 (十五島)  |
|     | 曾我部久和 (東藤野)  |
|     | 木村 雅子 (藤ヶ丘西) |
| 福祉部 | 寺原 敬子 (西藤野)  |

地域安全部

- |              |
|--------------|
| 清野 昭一 (白樺)   |
| 関根 誠 (十五島)   |
| 大熊 成子 (十五島)  |
| 角本 稔 (十五島)   |
| 宮里 紀詮 (十五島)  |
| 眞保 和子 (野々沢)  |
| 加賀谷 昇 (第一)   |
| 大越 龍幸 (野々沢)  |
| 河野 秋子 (西藤野)  |
| 伊藤 洋子 (十五島)  |
| 齋道 弘子 (野々沢)  |
| 伊東 慶子 (野々沢)  |
| 弘津真理子 (藤ヶ丘南) |
| 鈴木加奈男 (藤ヶ丘西) |
| 八幡 忠幸 (三区)   |
| 中川 隆 (本通)    |



平成29年度 藤野地区町内会連合会 一般会計決算書[期間 29/04/01~30/03/31]

収入の部

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	摘 要
繰越金	1,072,223	1,072,223	0	
町連会費	1,672,250	1,672,250	0	6689世帯×250円
市等からの助成金	2,896,470	3,922,419	1,025,949	
地域振興 町連	758,900	758,900	0	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,307,570	1,307,570	0	6689世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	830,000	1,815,949	985,949	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり・ふるさとマップ製作
防災活動支援事業	0	40,000	40,000	富士見・十五島町内会
募金交付金	120,000	126,039	6,039	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	670,000	714,796	44,796	広告料18万円、会費35万円、日赤4万円、コピー等14万円
その他収入	660,000	660,000	0	社協使用料48万円、事業所借上補助18万円
合 計	7,090,943	8,167,727	1,076,784	

支出の部

科 目	29年度予算額	29年度決算額	増 減	摘 要
諸経費	2,680,000	3,691,742	1,011,742	
事務費	660,000	702,210	42,210	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、通信費、印刷費、コピー機リース14万円
交通費	80,000	80,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	440,000	485,704	45,704	総会12万円、新年交礼会30万円、関連諸経費
会議費	150,000	128,381	△21,619	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	30,000	17,960	△12,040	慶弔諸費用
渉外費	220,000	260,000	40,000	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	210,000	267,311	57,311	防火2万円、防犯2.6万円、沿線協議会13.4万円、南区成人式3万円、他5.7万円
その他経費	890,000	1,750,176	860,176	賃借料72.8万円、除排雪代他5万円、ふるさとマップ97.2万円
事業費	2,170,000	1,907,411	△262,589	
総務部費	70,000	53,272	△16,728	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	490,000	466,325	△23,675	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	210,000	178,695	△31,305	スポーツ・レクリエーション活動(ドッチボール、雪中運動会、PG等)
青少年部費	230,000	220,087	△9,913	ふじの子ども会議・鑑賞会18.7万円、書初め会他3.3万円
女性部費	180,000	174,666	△5,334	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	200,000	203,159	3,159	社協との協力、支援等(敬老メッセージ7万円、子育てサロン13.4万円)
地域安全部費	170,000	139,018	△30,982	少年消防クラブ5万円、交通安全防犯青色回転灯9万円
文化部費	90,000	88,084	△1,916	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承等 関連経費
環境部費	130,000	129,608	△392	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	400,000	254,497	△145,503	事業費の負担増に伴う助成金
地域振興 単町 助成金	1,307,570	1,307,570	0	住民組織助成金
募金交付金	95,000	98,523	3,523	日赤・共同募金活動交付金(単町への配布)
防災活動支援事業助成	0	40,000	40,000	富士見・十五島町内会
小 計	6,252,570	7,045,246	792,676	
予備費	838,373	0	△838,373	
繰越金(預金・現金)		1,122,481	1,122,481	*JA 281,882 *北門 390,309 *ふれあい助成金 450,290
合 計	7,090,943	8,167,727	1,076,784	

平成30年度 藤野地区町内会連合会 一般会計予算書[期間 30/04/01~31/03/31]

収入の部

科 目	29年度決算額	30年度予算額	増 減	摘 要
繰越金	1,072,223	1,122,481	50,258	
町連会費	1,672,250	1,668,000	△4,250	6672世帯×250円(17世帯減)
市等からの助成金	3,922,419	3,022,560	△899,859	
地域振興 町連	758,900	757,200	△1,700	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,307,570	1,305,360	△2,210	6672世帯×130円+基準割額(住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	1,815,949	960,000	△855,949	南区地域ふれあい事業助成金、ふるさとまつり
防災活動支援事業	40,000	0	△40,000	
募金交付金	126,039	120,000	△6,039	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	714,796	680,000	△34,796	広告料16万円、会費35万円、日赤4万円、コピー等13万円
その他収入	660,000	680,000	20,000	社協使用料50万円、事業所借上補助18万円
合 計	8,167,727	7,293,041	△874,686	

支出の部

科 目	29年度決算額	30年度予算額	増 減	摘 要
諸経費	3,691,742	2,840,000	△851,742	
事務費	702,210	710,000	7790	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)、通信費、印刷費、コピー機リース16万円
交通費	80,000	100,000	20,000	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	485,704	490,000	4,296	総会、懇親会15万円、新年交礼会30万円、その他経費
会議費	128,381	150,000	21,619	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	17,960	30,000	12,040	慶弔諸費用
渉外費	260,000	260,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	267,311	270,000	2,689	防火2万円、防犯2.6万円、沿線協議会13.4万円、南区成人式3万円、他6万円
その他経費	1,750,176	830,000	△920,176	賃借料72.8万円、損保3万円、除排雪代他5万円
事業費	1,907,411	2,198,000	290,589	
総務部費	53,272	60,000	6,728	総務諸経費(情報委員会含)
広報部費	466,325	490,000	23,675	ルピナス発行3回、印刷他編集・取材費等
体育部費	178,695	210,000	31,305	スポーツ・レクリエーション活動(ドッチボール、雪中運動会、PG、登山会等)
青少年部費	220,087	230,000	9,913	ふじの子ども会議4万円、鑑賞会14万円、書初め会2万円、かるた会他3万円
女性部費	174,666	180,000	5,334	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会
福祉部費	203,159	250,000	46,841	敬老メッセージ7万円、子育てサロン他18万円
地域安全部費	139,018	140,000	982	地域安全活動(交通安全、防犯、防災、青色回転灯)12万円、少年消防クラブ2万円
文化部費	88,084	100,000	11,916	地域文化展、写真展・藤野文化の伝承等 関連経費
環境部費	129,608	138,000	8,392	環境清掃、クリーンさっぽろ、花いっぱい運動(花の実技研修・ガーデニング)
ふるさとまつり事業費	254,497	400,000	145,503	事業費の負担増に伴う助成金
地域振興 単町 助成金	1,307,570	1,305,360	△2,210	住民組織助成金
募金交付金	98,523	100,000	1,477	日赤・共同募金活動交付金(単町への配布)
防災活動支援事業助成	40,000	0	△40,000	
小 計	7,045,246	6,443,360	△601,886	
予備費		849,681	849,681	
繰越金(預金・現金)	1,122,481	0	△1,122,481	
合 計	8,167,727	7,293,041	△874,686	

## 「福祉のまち」を推進 社会福祉協議会総会

平成三十年度の藤野地区社会福祉協議会（会長飯盛盛禮子氏）の今年度総会は五月二十六日、藤野地区センターアリーナで代議員八十五名が参加。報告事項三件と三十九年度事業計画など二件を拍手によって可決しました。

今年度も「福祉のまち推進」一団  
体活動支援」などを柱に、毎月や  
通年で各種の事業を予定。予算額  
は493万4171円で前年度に  
比べ6730円削減致しました。

## 新入学児童に 交通安全を呼びかけ

交通安全母の会（伊藤洋子会長）  
は四月六日の小学校入学式に合  
わせ、父母や児童に交通安全を呼  
びかけた。藤野小学校では伊藤会  
長ら三人が、登校して来る父母や  
児童に「車に気をつけましょう。」と  
粗品を配って呼びかけた。また藤  
野南小学校でも同  
様の呼びかけを  
行った。新入学児  
童は藤野小が三十  
四名、南小は四十  
九名、藤野沢小は  
二十一名だった。



藤野小学校にて

## 「春の交通安全 街頭啓発」



四月十三日（金）午前十時三十  
分から、藤野地区センター前の国  
道230号で藤野地区町内会連合  
会、藤野地区交通安全運動推進委  
員会、藤野地区交通安全母の会な  
どが主体となり、春の交通安全街  
頭啓発が行われました。

この街頭啓発は、新入学児童・  
園児の安全や活動期に入る自転車  
利用者、また、雪解けによる車の  
スピードの出し過ぎなどによる春  
型の交通事故防止のため、四月六  
日（金）から四月十五日（日）ま  
での十日間実施される「春の交通  
安全市民総ぐるみ運動」に合わせ  
て毎年行われているものです。

この日は、総勢約百七十名の参  
加者が「交通安全は家庭から」の  
横断幕や、「スピードダウン」の手  
旗を掲げながら、国道の両側に並  
んでドライバー  
に安全運転を呼  
びかけました。



## 「真心の花」

丹治友香

あるテレビ番組にて、和歌山県  
の串本町とトルコ共和国との友好  
交流が第二次世界大戦前から長き  
にわたり続いている事を知り、日  
本人として誇らしく感銘を受けべ  
んをとりました。

明治二十三年（一八九〇年）オ  
スマントルコ（※当時の名）から  
来日したエルトゥール号が帰途に  
半島沖で座礁し沈没。乗員八十一  
名が不明。六十九名が沿岸の串本  
町の方達に救助されました。

その頃日本も貧しい時、串本町  
は寒村でしたが人々の心は暖かく、  
乏しい生活の中、粥にて飢えと寒  
さから守りました。当時の灯台守  
だった高野友吉氏のもと、村人は  
心一つにし、六十九名の命を助  
けたのです。現場には村人達が慰  
霊碑を建立し、異国で命を落と  
した水兵たちをしのんでいます。

トルコ共和国メルシン市では串  
本町の人々の恩を忘れない為に、  
「串本」と名を取った道路や公園も  
あります。国では教科書にこの話  
が載っており、小さい子も知って  
います。

肌の色が違っていても  
国が違っていても、両国  
の心の中には永久に大輪の真心の  
花として咲き続く事と思います。



## 編集後記

本年も町連定期総会が開催され  
二十九年度の事業報告、三十年  
度の事業計画、及び役員補選が行  
われ、皆様の御協力を得て無事終  
了する事が出来ました。

さて、今年の藤野ふるさとまつ  
りはステージと屋台が一箇所に集  
約された形で行われる予定です。  
これでお祭りの盛り上がるお祭り  
となり、皆様に喜んで頂ける事と  
思います。

また、ルピナス230につきま  
しては一〇〇号をひとつの区切り  
として心新たに一〇一号からはフ  
ルカラー印刷と致しました。

こちらも皆様に喜んで頂ける紙  
面を作って参りたいと存じます。  
面白い出来事や役に立つ情報等  
がございましたら、是非とも左記  
までご連絡頂けますと幸いです。

（佐藤、高橋記）

ルピナス第一〇一号

平成三十年六月十日発行

発行人 吉田 健治  
編集人 佐藤 英之  
高橋 明利

表紙写真提供 森崎 学  
印刷所 日光広告(株)

連絡先 五九一四九三〇（佐藤）